

(7) 令和4年度の主な事業と取り組み

※区分：△は再掲

基本方針	基本目標	KPI	単位	目標値			戦略	R4年度の具体的取組			
				R4	R8	R13		番号	区分(※)		方針、時期など
				新規	拡充						
1 救急医療、成育医療及びがん診療を柱に、高度で専門的な医療を提供します	救急医療 救命救急センターとして、鹿児島県の救急医療体制の充実に貢献します	救急車搬送患者数	人	3,500	3,910	4,400	① 救急医療機関との連携促進及び地域の救急医療体制の充実への貢献	①-1	△	魅力ある市立病院のアピール（ホームページ改修）【再掲】	
							② 救命救急医療のさらなる高度化	②-1	○	高度医療機器整備事業	
							③ 多様な救急疾患に対応できる診療体制の構築	③-1	△	救急科におけるシフト制の導入（R4～予定）【再掲】	
								③-2		再整備における医局当直室の拡張（R8～）	
							④ 救急医療に携わる人材の確保・育成	④-1	△	専門資格業務手当の創設（対象：特定看護師、診療看護師）【再掲】	
	⑤ 救命救急センター充実段階評価のS評価取得	⑤-1	○	薬剤師1名増（救命救急センターの体制強化）							
	成育医療 総合周産期母子医療センター・成育医療センターとして、一貫した医療を提供します	分娩件数	人	826	816	772	① MFICUの拡充と成育医療のさらなる高度化	①-1		再整備によるMFICUの増床（+3床）（R8～）	
							② 産科・新生児・小児救急医療の24時間体制の充実	②-1	△	高度医療機器整備事業【再掲】	
		MFICU・NICU 救急車搬送患者数	人	116	129	154	③ 地域医療機関との連携促進及び地域の成育医療システムの充実への貢献	③-1	△	魅力ある市立病院のアピール（ホームページ改修）【再掲】	
							④ 成育医療に携わる人材の確保・育成	④-1	△	専門資格業務手当の創設（対象：特定看護師、診療看護師）【再掲】	
	がん診療 高度型の地域がん診療連携拠点病院に求められる医療ニーズに応じた高度で専門的な医療を提供します	がん相談件数	人	4,922	5,142	5,296	① がん診療機能を集約したがんセンターの設置	①-1		再整備による相談室等の拡張及び機能集約（R8～）	
							② がんの手術・化学療法等の高度化	②-1	△	高度医療機器整備事業【再掲】	
		がん手術件数	人	2,677	2,677	3,257	③ あらゆるがんに対応できる診療体制の充実	③-1	○	・がんパネル検査手数料 ・鹿児島大学病院でのエキスパートパネル（多職種会議）開催に伴う委託料及び手数料（R3.4～）	
							④ 緩和ケアなどがん患者に寄り添った包括的ながん診療体制の充実	④-1		再整備による相談室等の拡張及び機能集約（R8～）【再掲】	
		外来化学療法患者数	人	8,066	8,472	8,965	⑤ がん診療を行う地域の医療機関との連携の推進	⑤-1	△	魅力ある市立病院のアピール（ホームページ改修）【再掲】	
総合診療 総合病院として診療機能の充実を図ります	クリニカルパス適用率	%	39	43	48	① 急性期病院として様々な疾患に対応できる総合診療体制の充実	①-1	○	定数増（医師5名、看護師13名、医療技術職3名）		
						② 認知症ケアなど少子高齢化に伴いニーズが高まる高齢者医療の強化	②-1	○	医療ニーズに合わせた病床再編（随時）		
	中央手術室手術件数	人	6,905	6,905	8,400	③ 糖尿病や腎臓病など生活習慣病診療の充実	③-1	○	救急棟における透析設備の増設（R4～本格稼働）		
						④ 増加する手術へ対応する手術部門の拡充	④-1		再整備による手術室の増室（+3室）及びICUの増床（+4床）（R7～）		
						⑤ クリニカルパスを活用した在院日数の適正化	⑤-1	○	先進病院の調査・研究		
2 患者や家族に寄り添い、安全で信頼される医療を提供します	患者目線に立った医療を提供するとともに、チーム医療による医療安全活動の活性化を図ります	患者満足度	入院	%	93.0	93.8	95.0	① 患者満足度の向上	①-1	○	市民Web講座動画掲載事業
								② 臨床検査室認定（ISO 15189）の取得	②-1	○	ISO取得のためのコンサルタント業務
								③ 医療事故（インシデント、アクシデント）の発生抑制	③-1	△	薬剤師1名増（医療安全管理室）【再掲】
								④ ホームページ等の充実による情報発信力の強化	④-1	○	魅力ある市立病院のアピール（ホームページ改修）
		外来	%	86.0	88.5	91.0	① 急性期病院として様々な疾患に対応できる総合診療体制の充実	①-2		再整備における医局当直室の拡張（R8～）【再掲】	
							② 認知症ケアなど少子高齢化に伴いニーズが高まる高齢者医療の強化	②-2	○	臨床検査技師1名増（臨床検査技術科の体制強化）	
							③ 糖尿病や腎臓病など生活習慣病診療の充実	③-1	○	検査機器買替事業	
							④ 増加する手術へ対応する手術部門の拡充	④-1		再整備による手術室の増室（+3室）及びICUの増床（+4床）（R7～）	
3 地域医療機関との連携を進め、地域医療の充実に努めます	医療連携の強化により、高度急性期・急性期病院として地域のかかりつけ医との機能分化を図ります	紹介率	%	77.6	81.0	85.4	① 初診紹介患者のWeb予約の拡充による登録医療機関の増	①-1	○	初診紹介患者のWeb予約の広報及び対象診療科の拡充による登録医療機関の増	
							② 紹介率・逆紹介率の向上	②-1		再整備による入退院支援センターの拡張（R8～）	
		逆紹介率	%	99.4	103.0	107.0	③ 患者の入退院支援の充実	③-1		再整備による入退院支援センターの拡張（R8～）【再掲】	
							④ かかりつけ医との連携促進	④-1	△	魅力ある市立病院のアピール（ホームページ改修）【再掲】	

基本方針	基本目標	KPI	単位	目標値			戦略	R4年度の具体的取組				
				R4	R8	R13		番号	区分(※)		方針、時期など	
									新規	拡充		
4	職員の教育、研修及び研究を奨励し、医療水準の向上に努めます	高い専門性を備え、地域医療に貢献する質の高い医療人の確保・育成に努めます	特定行為研修修了者数	人	6	7	8	① 特定看護師や診療看護師等の人材育成	①-1			再整備による研修センターの新設 (R7～)
			当院専門研修プログラム履修者数	人	17	21	26	② 専門研修プログラム及び資格取得支援の充実	①-2	○		専門資格業務手当の創設 (対象：特定看護師、診療看護師)
								③ 大学院連携講座の充実	①-3		○	eラーニング利用料の増 (開講科目の増)
								②-1			再整備による研修センターの新設 (R7～) 【再掲】	
③-1			再整備による研修センターの新設 (R7～) 【再掲】									
5	ワークライフバランスに留意し、やりがいと充実感の持てる職場づくりに努めます	職員がやりがいと充実感の持てる職場環境づくりに努めるとともに、働き方改革への取り組みを進め、職員の負担軽減を進めます	手術室の時間外占有率	%	7.4	7.0	6.0	① タスクシフト、タスクシェアリングの推進	①-1		○	薬剤師1名増 (医療安全管理室における一部業務の看護師→薬剤師へのシフト)
			男性職員の育児休業取得率	%	30.0	40.0	52.5	② 医師のシフト制勤務の導入	②-1		○	救急科、産婦人科におけるシフト制勤務の導入 (R4～予定)
								③ ICTの活用による職員の負担軽減	③-1		○	病院ネットワーク更新事業
									③-2		○	ミーティングボードの導入
									③-3		○	遠隔会議システム (Zoom) のウェビナー機能追加
								③-4		○	スマートホスピタル推進事業	
								③-5		○	ペーパーレスミーティング導入検討事業	
								③-6		○	e-サイン導入検討事業	
								③-7		○	VAN発注システムの導入	
								③-8		○	AI問診システム利用診療科の拡充	
③-9			PHSからスマートフォンへの入れ替え (R5～)									
④ 男性職員の育児休業取得の促進	④-1		△	定数増 (医師5名、看護師13名、医療技術職8名) 【再掲】								
6	健全経営に努め、医療ニーズに応え絶えず進化する病院を目指します	地域医療を担う県下の中核的医療機関として、将来にわたって高度で専門的な医療を提供するため、再整備を行い健全経営に努めます	経常収支比率	%	97.1	97.5	101.7	① 再整備による診療機能や診療体制の充実	①-1		○	鹿児島市立病院再整備基本設計業務
			医業収支比率	%	95.2	95.8	100.0	①-2		○	鹿児島市立病院再整備基本設計者選定支援業務	
								①-3			再整備によるICUの増床等に伴う看護師等の増 (R5～)	
								①-4			再整備による手術件数の増に伴う麻酔科医の増 (R9～)	
								② 病床再編による人員体制の拡充	②-1			定数増 (随時)
								③ 新たな診療報酬加算の積極的な取得による収益の確保	③-1		○	経営改善実行支援業務 (加算、指導料等の算定向上のための取組)
④ 運営経費や設備投資の適正化と徹底的なコストの削減	④-1		○	ターボ冷凍機操作盤・計装品整備業務委託								
⑤ 経常収支比率及び医業収支比率の100%超えの達成	⑤-1		△	定数増 (医師5名、看護師13名、医療技術職8名) 【再掲】								